



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 129

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 129. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1963, 129: 9-16

ISSUE DATE:

1963-06-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186908>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

水族館月報

NO. 129

1963. 5月(6月10日)

録 事

5月25日 午前5時よりか・はえ等の駆除のため、ヘリコプターによる薬剤の散布が白浜町防虫協会の手によって行なわれた。散布薬剤は3パーセントマラソン粉剤で、地上10米乃至15米の低空からの散布であったが、当館における飼育水族には、ほとんど被害はみとめられなかった。か・はえについては一時非常に少なくなった。しかし、か・はえの駆除のためにはもっと回数をふやす必要がある。

業 務 概 況

◎ 5月の入場者数

○ 水族館窓口販売

区 分	大 人	中 人	小 計	小 計	累 計
個 人	8471	67	326	8864	23038
団 体	20009	476	1729	22214	46305
小 計	28480	543	2055	31078	69343

○ 交通業者販売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計	累 計
明 光 バス	47486	0	164	47650	109599
白 河 急 行 バス	4643	0	11	4654	9994
小 計	52129	0	175	52304	119593

○ 旅行幹旋業者委託販売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計	累 計
日本交通公社	2566	0	0	2566	5182
近畿日本ツリスト	1041	0	0	1041	2756
日本旅行会	688	0	0	688	848
南海交通社	554	0	2	556	781
日本通運KK	181	0	0	181	301
小 計	5030	0	2	5032	9868

合 計	85639	543	2232	88414	198804
累 計	190827	1292	6685	198804	198804
無 料	旅館従業員			46	166

◎ 5月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金	2,931,135	5,484,195
窓口発売	819,665	1,830,647
明光バス観光券	1,829,060	3,251,121※
白浜起行バス観光券	159,780	159,780
日本交通公社クーポン	66,616	134,559
近畿日本ツリストクーポン	27,969	72,723
日本旅行会クーポン	17,370	21,450
南海交通社クーポン	5,973	5,973
日本通運KKクーポン	4,702	7,942
絵はがき売上金	26,530	72,190
予金利子	720	720
手数料	58,072	104,062
パンフレット払下	—	—
研究業績払下	—	—
興類払下	200	1,100
雑収入	336	2,150
諸施設改善・竪立金より繰入	—	—
合 計	3,016,273	5,664,417
明光バス観光券未収分	@30 26603枚 @27 25885枚 @10 356枚 @9 39枚	

◎ 5月の支出

本部経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	35,881	69,329	
旅 費	—	—	
会 議 費	—	—	
車 務 費	—	—	
福祉厚生費	—	—	
社会保険料	—	—	
竪立金	—	—	
合 計	35,881	69,329	

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	281,207	576,754	
旅 費	7,670	8,700	
車 費	107,674	261,142	
管 轄 費	17,655	38,794	
公課及保険料	14,927	45,165	
諸 経 費	178,183	295,337	
合 計	607,316	1,225,892	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
旅 費	—	—	
研 究 費	40,600	40,600	
助 成 金	10,000	200,000	
刊 行 費	—	—	
役 務 費	—	—	
合 計	50,600	606,000	

支出合計

(今年度累計)

本部経費	35,881	94,839
水族館経費	607,316	1,225,892
実験所経費	50,600	606,000
臨時費	—	—
合 計	693,797	1,381,331

◎ 5月末現在高

前月よりの繰越	1,960,610
今月の収入合計	3,016,273
今月の支出合計	693,797
現 在 高	4,283,086

◎ 前年度との比較

	1963	1962	増 減
入 場 者 数	88414	82887	+ 5527

水 族 館 記 事

- ◎ 10日～20日 B, D, J, K各水槽の大清掃と内式フィルターの整備を行った。フィルター木枠は、砂中に深く埋めてあったものでも、フナクイムシの被害がひどく、半数は今年度中にとりかえを要しよう。昨年中白点病が頻発した水槽は、塩酸キニーネ・硫酸銅等の薬品をたびたび投入したことによって、これらの水槽のフィルター木枠は、その被害が少なかった。またB水槽で試用中の脱塩と製フィルターは全く傷んでいない。
- ◎ 15日 京都市記念動物園水族館より、たつての依頼に、ナヌカザメ、オサゴ、マツカサウオ等10種80個体を分譲した。
- ◎ 16日 数日來の降雨のため、海水の比重は17.0まで下ったが、下り音がゆっくりだったので、ウチワエビ3個体が死亡しただけで、昨年7月の集中豪雨の時のような大被害はなく、20日には、21.5まで回復した。
- ◎ 17日～30日 北浜の地曳網(網不知地区、岩城惣八氏指揮)を手伝い、水族館向きの動物を採集した。この方法で入槽した主な水族名は次の通りで、☆印は37年4月1日以降はじめての入槽動物。無脊椎動物：ハナガサクラゲ、ハナイカ、ヒメコウイカ、スナダコ、モミジガイ、魚類：ヒラタエイ、☆ ハマトビウオ、カイワリ、☆ オキヒイラギ、☆ マトウダイ、☆ クサアジ、イシダイ、メイチダイ、キュウセン、カワハギ、☆ ナガハギ、ヨソギ、☆ ウスバハギ、シマウミスズメ、イシガキフグ、ホウボウ、クロウシノシタ
- ◎ 30日 大阪の熱帯魚店より、チョウチョウウオの1種 Chelmon rostratus 1個体を購入、T6に展示。

◎ 5月の採集作業

日 時	採集場所	方法	人員	主な目的
10日 午後	動物園下の磯	磯採集	2名	イリスエビ・ウニ類
12日 午後	江津良海岸	〃	2	ヒトデ類、ウミウシ類
17, 18, 21, 30日 午前	実験所北浜	地曳網	2～3	前記の水族
23日 午前	富 島	磯採集	2	二枚貝類、 <u>ムラサキハナギンチャク</u> <small>ハナギンチャク</small>

◎ 主な採集水族名(前記地曳網による入槽動物をのぞく)

無脊椎動物：ムラサキハナギンチャク、ホウキムシ、サラサエビ、テッポウエビ、

イソスジエビ、ウミフクロウ、サラサウミウシ、ハボウキガイ、ミスガイ、

★ホソカスヒザラガイ ★ニシキヒザラガイ イトマキヒトデ トウメクシヒトデ
ヨツアナカシバン

魚類：ウツボ ナベカ キユウセン ササノハヤラ ハオコゼ

◎ 主な購入水産名 (★印は37年4月1日以降はじめての入槽動物)

無脊椎動物：クルマエビ ゾウリエビ アオリイカ

魚類：ネコザメ ホシザメ コモンサカシズメ ハチ イツトウダイ マツカサウオ

イヤゴハタ アオハタ アカハタ カケハシハタ チダイ ★アカアサダイ

★ソコイトコリ ★テングダイ キンチャクダイ ★ギマ ウミスズメ ハチ

ヒラメ インカレイ チゴダラ

◎ 5月31日現在、飼育中の動物は、301種3590個体以上で、その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に收容展示中の動物は、295種3420個体以上。

ヒドロ虫類	3種	フジツボ・カメノテ類	5種	ウミシダ類	2種
ウミトサカ類	1〃	エビ類	17〃	ヒトデ類	7〃
ヤギ類	5〃	ヤドカリ類	4〃	クモヒトデ類	4〃
ウミエラ類	1〃	カニ類	23〃	ウニ類	10〃
イソギンチャク類	7〃	アメフラシ類	4〃	ナマコ類	6〃
イシサンゴ類	3〃	二枚貝類	8〃	ホヤ類	3〃
ハナギンチャク類	1〃	巻貝類	23〃	軟骨魚類	12〃
ホウキムシ類	1〃	ヒザラガイ類	1〃	硬骨魚類	137〃
多毛類	5〃	イカ類	2〃	カメ類	3〃
カブトガニ類	1〃	アコ類	2〃		

資 料

5月の気象 (09時観測)

第1水槽室 (水温・比重は16.24水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴 天 日 数 : 7	3	3	1
室 温 (°C)	16.2 ~ 22.4	17.6 ~ 22.0	20.8 ~ 22.8
	18.7	20.7	22.2

	上 部	中 部	下 部
氷 温 (°C)	$\frac{17.20 \sim 19.46}{18.39}$	$\frac{18.64 \sim 20.66}{19.90}$	$\frac{20.40 \sim 21.82}{21.12}$
土 重 (σ_{15})	$\frac{22.10 \sim 25.32}{24.57}$	$\frac{17.00 \sim 24.63}{22.12}$	$\frac{21.89 \sim 24.68}{23.60}$

新 館 (氷 温)

H 氷槽 (°C)	$\frac{17.0 \sim 19.0}{17.9}$	$\frac{18.4 \sim 20.4}{19.5}$	$\frac{21.4 \sim 22.3}{21.7}$
Ts 氷槽 (°C)	$\frac{19.6 \sim 20.0}{18.7}$	$\frac{19.0 \sim 21.8}{20.5}$	$\frac{21.0 \sim 22.5}{21.7}$

取 入 口

氷 温 (°C)	$\frac{17.46 \sim 19.08}{18.67}$	$\frac{18.80 \sim 21.42}{20.45}$	$\frac{19.88 \sim 22.00}{21.64}$
土 重 (σ_{15})	$\frac{21.95 \sim 25.36}{24.49}$	$\frac{17.47 \sim 24.83}{22.28}$	$\frac{21.79 \sim 24.46}{23.42}$

来 訪 録

5月1日 京都市紀念動物園西山克技術吏員は飼育魚の醫付のため来館。

5月29日 大林組山田貞次郎設計部課長は当館増築ホ2期工事につき打合わせのため来館。

昭和38年6月10日 (NO.129)

編集兼
発行者

宮地 伝三郎

発行所

瀬戸臨海実験所振興会
和可山泉 白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉 515)